

平成 28 年度 文部科学省 全国学力・学習状況調査結果について

1 平均正答率（得点）等について

(1) 結果

	国語 A (基礎)	国語 B (活用)	算数 A (基礎)	算数 B (活用)
全国比較	努力を要する	同程度である	同程度である	同程度である

(2) 分析した傾向や課題

国語では、「漢字の読み書き」などの基礎的な内容をはじめ「ルール説明の表現について助言した内容を選択する」「登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する」「ローマ字を書く」などに課題があります。

算数では、基礎的な「図形の問題」「割合に関する問題」などの理解はできています。しかし、「小数の計算」に課題があります。

2 特に正答率が低かった問題

国語	算数
<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の読み「<u>快晴</u>」 ●漢字の読み「<u>省く</u>」 ●全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話合いの説明として適切なものを選択する。 ●ルール説明の表現について助言した内容を選択する。 ●登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する。 ●ローマ字「hyaku」 ●「早ね早起き」活動の課題について結果をもとに書く。 ●「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係づけてまとめたものとして適切なものをせん選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●$\square \div 0.8$ の商の大きさについて、正しいものを選ぶ。 ●$2.1 \div 0.7$ を、序数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。 ●$4.65 + 0.3$ を計算する。 ●$18 \div 0.9$ を計算する。 ●7.1, 7, 7.01 の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く。 ●40mハードル走の目標タイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさんの目標タイムを求める式と答えを書く。 ●三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ。 ●縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることが出来るわけを書く。 ●学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ。

3 今後の取組

(1) 学校における取組

—国語—

- 漢字を読んだり書いたりする機会を意図的・計画的に設定し、漢字テストなど定期的に仕組む。
- ペアやグループ、全体で話し合う時間を設定し、計画的に話し合いができるようにする。
- ローマ字の練習プリントを宿題などに仕組む。

—算数—

- 授業のはじめやおわりに、「小数のわり算」の計算問題を位置づける。
- 小数や整数を比べるような補充問題を行う。

(2) 家庭における取組のお願い

(生活習慣に関すること)

家庭における5つの取組(食・あいさつ・そうじ・自学・ことば)の目標を、お子様と共に再確認して、毎日実践するようにお願い致します。各学年で決められている学習時間・内容を再度ご確認ください、宿題に加えて「自由勉強」にも積極的に取り組むように指導してください。また、毎日、住吉っ子ノートに目を通し、お子様のがんばり・よさ・成長を誉めてくださるようお願い致します。

(自学に関すること)

- ・テレビを消して、静かな学習の場を設定してください。(70分以上の学習時間の確保)
- ・**家庭学習時間や内容については、「住吉っ子ノート」**をご確認ください。お子様が集中して家庭学習できる環境づくりをお願い致します。学校からは、次のような宿題を出しますので、お子様への声かけをお願い致します。

①国語

- 漢字の書き取り(これまで習った漢字をテストする)・音読(決められた時間で読む)
- 読書(図書館の利用を促す取組・テレビやゲームの時間を決める)
- 語彙力向上のための国語辞典と漢字辞典活用
(言葉や慣用句の意味・漢字については自分で調べる)
- 新聞や雑誌に触れさせることで、教科書以外の文章読解力を身につけること
- 日常の会話の中での正しい言葉づかい(主語と述語)

②算数

- 四則計算(計算ドリル・計算プリント・過去の学力状況調査の問題)→特に小数・概数**
- 円周と円の面積
- 割合の求め方(比較量÷基準量=割合)
- 文章問題に多く取り組ませることで、答えを導く過程を数直線や図を使って説明・立式できるようにすること(学習プリントの活用)